1

ご使用になる前に

充電する…… 1-2
電源を入れる／切る…… 1-7
各部の名前…… 1-8
画面の見かた…… 1-10
ボタンの使いかた…… 1-12
日時を設定する…… 1-15

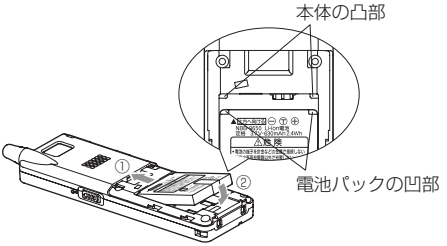
充電する

電池パックを取り付ける

本電話機を使用するには、電池パックを取り付ける必要があります。

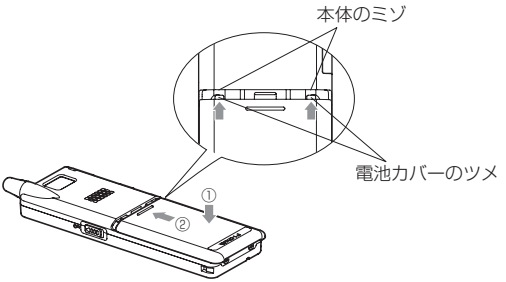
1 電池パックをはめ込む

電池パックの印字面を上にして電池パックの凹部を本体の凸部に合わせて①の方向に差し込み、②の方向に押し付けてはめ込みます。



2 電池カバーを取り付ける

電池カバーのツメを本体のミゾに合わせ、本体との間にすき間が生じないよう①の方向に押さえながら②の方向に「カチッ」と音がするまでスライドさせて取り付けます。



3 電池カバーと本体に大きなすき間がないことを確認する

ご注意

- 電池カバーはゆるみのないようにしっかり閉めてください。ゆるみがあると、振動で電池カバーが外れて電池パックが飛び出すおそれがあります。

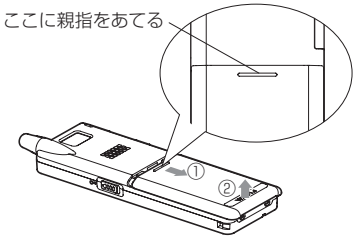
電池パックを交換するときは

電池パックの寿命の目安は使用頻度によりますが、約 1 年です。十分に充電しても使用時間が短くなったときは新しい電池パックと交換してください。
電池パックは次の手順で交換してください。

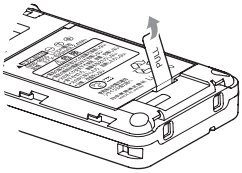
1 電源が入っているときは、PWR を約 3 秒以上押して電源を切る

2 電池カバーを取り外す

親指で電池カバーを押さえながら①の方向にスライドさせて、本体と平行にゆっくりと②の方向に持ち上げて取り外します。



3 電池パックの PULL テープを引っ張り電池パックを取り外す



4 新しい電池パックを入れ、電池カバーを取り付ける

「充電する」（☞ 1-2 ページ）の手順 2 にしたがって、電池カバーを確実に取り付けてください。

5 充電する

「ＡＣアダプタで充電する」（☞ 1-4 ページ）

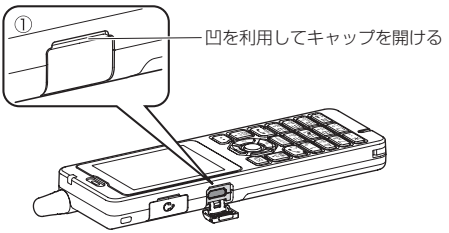
ご注意

- 電池パック交換の際は、必ず電源を切ってください。電源を切らずに交換すると、本電話機の故障の原因となります。
- 環境保護のため、使用済みの電池パックは、モバイル・リサイクル・ネットワークのマークのあるお店にお持ちください。その際、ショートによる液漏れ、発熱、発火のおそれがあるため、必ず端子にテープを貼るなどの絶縁処理を行ってください。

AC アダプタで充電する

初めてご利用になるときや電池パックを交換したときは、充電を行ってください。

1 本電話機の USB 端子のキャップを開ける



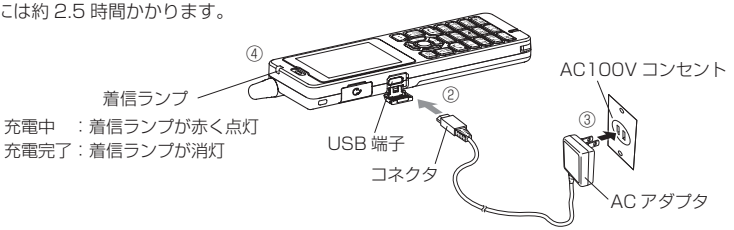
2 本電話機の USB 端子に AC アダプタのコネクタを接続する

3 AC アダプタをコンセント（AC100V）に差し込む

充電が始まります。充電中は着信ランプが赤色に点灯します。

4 着信ランプが消灯したら充電完了

充電には約 2.5 時間かかります。

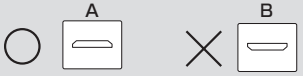


5 充電が完了したらコンセントから抜きACアダプタのコネクタを本電話機から取り外す

充電が完了したら USB 端子のキャップを閉じてください。

ご注意

- 電池パックを外した状態で本電話機を充電しないでください。
- AC アダプタでの充電は、USB 充電の設定にかかわらず、「高速」で行われます。「USB で充電する」（☞ 6-7 ページ）
- AC アダプタのコネクタを、本電話機以外に挿さないでください。
- AC アダプタのコネクタを USB 端子に接続する際には、下図 A のようにコネクタの先端部分の幅が狭い方を上側にして接続してください。下図 B のようにコネクタの向きが逆の状態で接続しようとすると、USB 端子やコネクタの先端部分を破損するおそれがあります。



（AC アダプタのコネクタを正面から見た図）

- WX01J BJ は、AC アダプタでの充電中はイヤホンマイクでの通話はできません。

卓上ホルダ（別売）で充電する

卓上ホルダ(別売)と AC アダプタを接続すると、本電話機を卓上ホルダ(別売)に置くだけで充電することができます。初めてご利用になるときや電池パックを交換したときは、充電を行ってください。

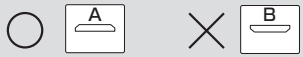
ご注意

- 必ず専用の卓上ホルダ（NQE-9530）（別売）をご使用ください。

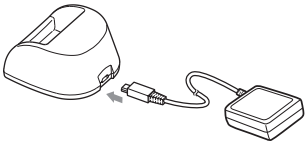
1 卓上ホルダ（別売）の接続端子に AC アダプタのコネクタを接続する

ご注意

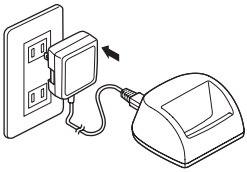
- AC アダプタのコネクタを卓上ホルダ（別売）に接続する際には、下図 A のようにコネクタの先端部分の幅が狭い方を上側にして接続してください。
  下図 B のようにコネクタの向きが逆の状態で接続しようとすると、卓上ホルダ（別売）の接続端子やコネクタの先端部分を破損するおそれがあります。



（AC アダプタのコネクタを正面から見た図）

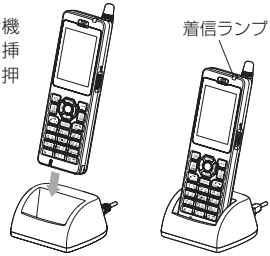


2 ACアダプタの電源プラグをコンセント（AC100V）に差し込む



3 本電話機を卓上ホルダ（別売）に置く

本電話機の背面底部を卓上ホルダ（別売）の壁面に沿わせて電話機の底部が卓上ホルダ（別売）のポケット内に確実に収まるように挿入してください。その際、若干の抵抗感がありますが、そのまま軽く押し下げてください。
本電話機を卓上ホルダ（別売）に置くと、充電が始まります。
充電中　：着信ランプが赤く点灯
充電完了：着信ランプが消灯



4 着信ランプが消灯したら充電完了

充電には約 2.5 時間かかります。

ご注意

- 電池パックを外した状態で本電話機を卓上ホルダ（別売）に置かないでください。
- 本電話機を卓上ホルダ（別売）に逆にして置かないでください。
- 本電話機の充電端子や卓上ホルダ(別売)の電源端子を時々清掃してください。端子が汚れていると、充電時間が長くなったり、充電できないことがあります。乾いた綿棒や乾いた柔らかい清潔な布で時々拭いてください。また、卓上ホルダ（別売）の置台部内に異物が入っていないかどうかご確認ください。異物が入っているとショートするおそれがあります。

お知らせ

- 充電時間は、本電話機の電源を切り、電池パックを空の状態から充電した場合の目安です。電源を入れたままの場合、充電時間は長くなります。
- 本電話機を卓上ホルダ（別売）に逆向きに置かないでください。充電できません。
- 充電端子が汚れていると、正しく充電を行うことができません。時々、充電端子を乾いた柔らかい清潔な布で拭いてきれいにしてください。
- 充電中に着信ランプが点滅した場合は、充電異常が発生しています。再度、本電話機を卓上ホルダ（別売）に置き直してください。それでも着信ランプが点滅する場合は、電池パックの寿命や故障が考えられます。
- 本電話機の電源の入／切に関係なく充電できます。
- 充電中は、本電話機、AC アダプタおよび卓上ホルダ（別売）の一部が多少熱くなりますが、異常ではありません。
- 初めてご利用になるときや電池パックを交換したときは、着信ランプが消灯するまで充電してください。お買い上げ時の電池パックは十分に充電されていません。
- 充電完了後に本電話機を取り外したあと、すぐに卓上ホルダ（別売）に戻すと、いったん着信ランプが赤色に点灯することがありますが、異常ではありません。
- 本電話機と電源の入ったパソコンを USB ケーブルで接続して充電することもできます。「パソコンと接続する」（☞ 4-2 ページ）
- 電池パックを長時間使用しなかったり、使い切った状態で充電せずに放置した場合、充電を開始しても着信ランプが点灯しないことがあります。この場合、電池パックの寿命や故障でなければ、数分後には着信ランプが点灯します。
- 充電中に電池パックが高温となった場合、充電状態を示す着信ランプは点灯しながらも、安全のため電池パックへの充電電流を一時停止し、満充電にならないことがあります。この場合は、電池パックの温度が下がるのを待って、充電を再開してください。
- 充電開始後、着信ランプが一瞬消灯することがありますが、異常ではありません。

電池残量を確認するには

電池残量は、画面に表示される電池マークで確認できます。ただし、表示は目安です。

十分にあります。
まだあります。
少なくなりました。
ほとんどありません。すぐに充電してください。

■ 電池がなくなったときは

「ピーピーピーピー」という警告音が鳴り、「充電して下さい」と表示されます。
通話中の場合は、「ピーピーピー」という警告音が鳴ってから約 3 分後に通話が切れ、本電話機の電源が切れます。

満充電にしたときの使用可能時間の目安

充電のしかたや電池パックの劣化度、使用環境によって以下の表の時間は変動します。

待受／通話モード	連続通話時間	連続待受時間※
公衆モード	約 8.5 時間	約 660 時間

※省電力モード「ON」設定時

オフィスモード、グループモードおよびデュアルモードでの連続待受時間は、公衆モードでの連続待受時間より短くなります。

お知らせ

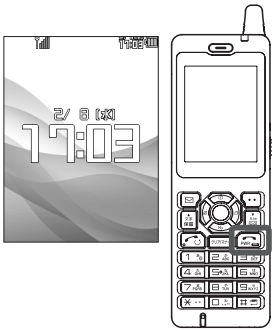
- 連続して通話だけを行った場合を連続通話時間、通話や操作を一切せずに、連続して待ち受け状態を保った場合を連続待受時間と呼びます。
- 連続通話時間や連続待受時間は、静止した状態で、かつ電波状態が安定した場所での時間です。
- 連続通話時間や連続待受時間は、使用場所の電波状態や機能の設定動作などにより短くなります。
- 電話帳、メールなどの文字入力のご利用が多い場合、電池パックの消耗が早くなります。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 PWR を約2秒以上押す

アニメーションが表示され、待ち受け画面が表示されます。



お知らせ

- アニメーションの途中で PWR を押すと、アニメーションが中断され、すぐに待ち受け画面が表示されます。
- 本電話機には、通常の電話機として使用できる公衆モードのほか、オフィスモード、グループモード、公衆＋オフィスモード（デュアルモード）、公衆＋グループモード（デュアルモード）があります。お買い上げ時は公衆モードに設定されていますが、他のモードをご利用になる場合は、モード設定を変更してください。「モードの活用」（☞ 7-1 ページ）

電源を切る

1 PWR を約3秒以上押す

「電源を切りますか？」と表示されます。

2 ◎ で「Yes」を選択 → ◎

アニメーションが表示され、電源が切れます。

お知らせ

- 電源 OFFメニューを「OFF」に設定している場合は、確認メッセージは表示されずに電源が切れます。

電源 OFF 確認メッセージの表示を設定する

電源を切る場合に、表示される確認メッセージを表示しないで、すぐに電源を切ることができます。

1 待ち受け画面で ◎ 5 9 3

「電源 OFF メニュー」が表示されます。

2 次の項目より選択 → ◎

1 ON

電源を切る場合に確認メッセージを表示します。◎ を押すと、「設定しました」と表示されます。

2 OFF

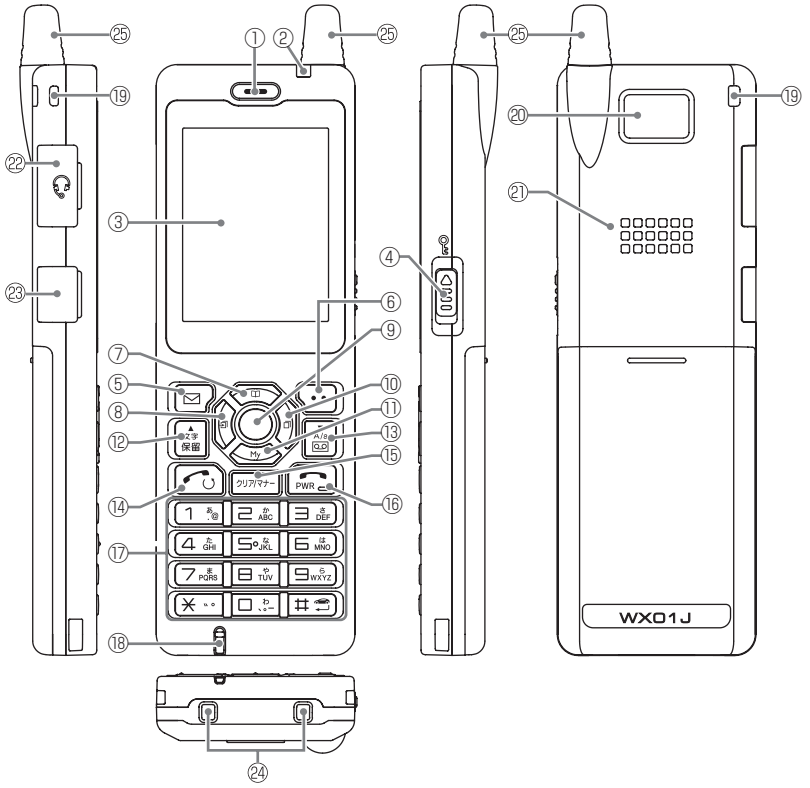
電源を切る場合に確認メッセージを表示しないで、すぐに電源を切ります。◎ を押すと、「解除しました」と表示されます。

お知らせ

- お買い上げ時は「ON」に設定されています。

各部の名前

ボタンについては代表的な機能だけを説明しています。

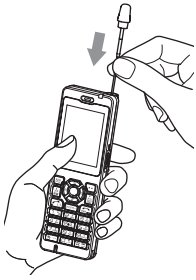


①	**受話口（レシーバ）**
②	**着信ランプ** 着信があったときなどに点滅します。充電中は赤く点灯します。
③	**画面**
④	**キーロックスイッチ** キーロックの設定／解除を行います。
⑤	**メールボタン** メールメニューを表示します。 また、ソフトキーとして画面左下に表示された機能を実行します。
⑥	**カスタムボタン** よく使う電話番号や機能を登録し、ワンタッチで呼び出すことができます。登録した機能は待ち受け画面の右下にソフトキーとして表示されます。また、ソフトキーとして画面右下に表示された機能を実行します。
⑦	**上ボタン** 画面上の上の項目を選択します。待ち受け画面でこのボタンを押すと、電話帳を表示します。
⑧	**左ボタン** 画面上の左の項目を選択します。待ち受け画面でこのボタンを押すと、着信履歴を表示します。
⑨	**決定ボタン** 画面に表示された項目を確定します。待ち受け画面でこのボタンを押すと、メインメニューを表示します。また、ソフトキーとして画面下部中央に表示された機能を実行します。
⑩	**右ボタン** 画面上の右の項目を選択します。待ち受け画面でこのボタンを押すと、発信履歴を表示します。
⑪	**下ボタン** 画面上の下の項目を選択します。待ち受け画面でこのボタンを押すと、マイメニューを表示します。
⑫	**保留ボタン** 通話中の電話を保留にします。
⑬	**留守録ボタン** 電話に出られないときに相手にメッセージを伝えたり、相手の音声を録音します。留守録音を設定／解除できます。
⑭	**発信・通話ボタン** 電話をかけたり受けたりするときに押します。
⑮	**クリア／マナーボタン** 入力した番号・文字を消去します。また、操作中の前の画面に戻るときやマナーモードを設定／解除するときに押します。
⑯	**電源・終話ボタン** 通話を終了します。また、電源の入／切、着信音の停止を行います。
⑰	**～、、ダイヤルボタン** 電話番号や文字を入力します。また、メニューの項目を番号で選択するときにも押します。
⑱	**送話口（マイク）**
⑲	**ストラップ取り付け穴**
⑳	**赤外線ポート** 赤外線通信を行うときに使用します。
㉑	**スピーカ**
㉒	**イヤホンマイク端子** 市販のイヤホンマイクを接続します。
㉓	**USB 端子** USB ケーブルでパソコンと接続できます。
㉔	**充電端子**
㉕	**アンテナ**

アンテナの使いかた

本電話機は、アンテナを収納していても電話をかけたり受けたりできますが、よりよい条件で電話するためにアンテナを十分伸ばしてお使いください。

アンテナを伸ばすときは、「カチッ」と音がするまで十分に引き上げてください。

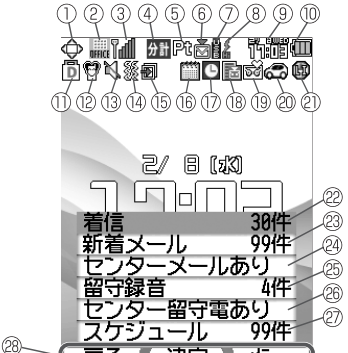


アンテナを収納するときは、アンテナの根元を持ってまっすぐに下ろしてください。

お知らせ

- 携帯するときは、必ずアンテナを収納してください。
- アンテナに無理な力を加えないでください。また、アンテナを曲げた状態で無理に収納しようとすると変形や破損の原因になります。

画面の見かた



①		上下左右の項目を選択可能
		上下の項目を選択可能
		左右の項目を選択可能
②		オフィスモード設定中
		公衆／オフィスモード設定中 （優先発信：公衆）
		公衆／オフィスモード設定中 （優先発信：オフィス）
		グループモード設定中
		公衆／グループモード設定中 （優先発信：公衆）
		公衆／グループモード設定中 （優先発信：グループ）
③		受信している電波の強度 （公衆、オフィスモード） 電波が強いほど通話に適しています。 や のときは電波が弱く、通話できないことがあります。電波の強い場所に移動してご使用ください。 弱い ← → 強い
		受信している電波の強度 （待受モードを公衆＋オフィスのデュアルモードに設定している場合） 公衆基地局と事業所用コードレスシステムに設置されたアンテナからの電波の受信状態を表示します。（上が公衆、下がオフィス）
		圏外 通話できません。 電波の強い場所に移動してご使用ください。
④		料金分計設定中
		呼び出し中、通話中
		データ送受信中
⑤		パケット通信中
		32kPIAFS 通信中
		64kPIAFS のベストエフォート通信中
		64kPIAFS のギャランティ通信中
		AO/DI 通信中 （1x パケットと 64kPIAFS の切り替え）
		未読メールあり

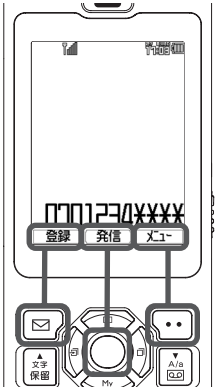
⑥		**E メールやライトメールの受信中**
		未受信のメールがサーバにあり
⑦		**USB ケーブルでパソコンと接続中** データ送受信中は点滅します。
⑧		**USB ケーブル経由で高速充電中**
		USB ケーブル経由で低速充電中
⑨		**日付／時計表示**
⑩		**電池残量** 要充電 ← → 十分
		充電中
		充電警告 充電するよう警告を表示しているときに点滅します。
⑪		**ダイヤルロック設定中** （キーロック起動、タイマ起動）
⑫		**マナーモード設定中**
		オートサイレントモード設定中
⑬		**音量 オフ** マナーモードで各種音量がオフになっているときに表示されます。
⑭		**バイブレーション オン** マナーモードで各種バイブレーションがオンのときに表示されます。
⑮		**履歴が確認されていない不在着信あり**
⑯		**未確認のスケジュールあり** 「通知しない」以外の未確認のスケジュールがあるときに表示されます。
⑰		**アラーム設定中**
⑱		**留守番ネットワークセンターに留守録あり**
⑲		**マナー留守録設定中**
		留守録設定中
		未確認の留守録あり
		留守録設定中に録音不可 録音件数がいっぱいでこれ以上録音できないときに表示されます。
⑳		**安全運転モード設定中**
㉑		**位置情報機能設定中**
㉒		**着信　○○件** 応答しなかった着信の件数が表示されます。
㉓		**新着メール　○○件** メールを受信したときに表示されます。
㉔		**センターメールあり** サーバにメールがあるときに表示されます。
㉕		**留守録音　○○件** 留守録にメッセージが録音されたときに表示されます。
㉖		**センター留守電あり** 留守番ネットワークセンターに留守録があるときに表示されます。
㉗		**スケジュール　○○件** 「通知する」または「事前通知する」のスケジュールが未確認のとき、その件数が表示されます。
㉘		**ガイダンス表示**

お知らせ

- 「㉒着信」の表示は最大 30 件です。30 件を越えた場合でも「30 件」と表示されます。
- 「㉓新着メール」「㉗スケジュール」の表示は最大 99 件です。99 件を越えた場合は「＊＊件」と表示されます。

ガイダンス表示について

画面の下端には、✉、◉、•• のその時点の機能が表示されます。



お知らせ

- ガイダンス表示がないときは、•• はカスタムボタンとして機能する場合があります。「カスタムボタンを設定する」（☞ 6-16 ページ）

ボタンの使いかた

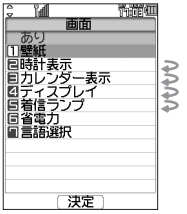
項目の選択と決定のしかた

本電話機では、画面に表示された項目を選択して「決定」という操作を行うことでさまざまな機能を実行します。項目選択と決定の操作には、上下左右ボタンを使う方法とダイヤルボタンを使う方法があります。

上下左右ボタンで選択し、決定するには

1 上下左右ボタンで項目を選択する

この画面のように選択肢が上下に並んでいる場合は、 または で項目を選択します。
例えば「壁紙」が選択された状態から「着信ランプ」を選択する場合は、 を4回押します。



2 を押す

「着信ランプ」画面が表示されます。

ダイヤルボタンで決定するには

選択肢に1、2、3…と番号が振られている場合は、その番号のボタンを押すことで項目が決定されます。

1 ダイヤルボタンを押す

例えば「着信ランプ」を決定する場合は 5 を押します。

メインメニューについて

待ち受け画面で を押すとメインメニューが表示されます。メインメニューから本電話機の各機能を使用することができます。
メインメニューの項目は で選択して を押す方法で実行できるほか、図で示したダイヤルボタンで実行することもできます。

1 メール
2 内線設定
3 アラーム
4 スケジュール
5 機能設定
6 電話帳
7 赤外線受信
8 アクセサリ
9 セキュリティ

ご注意
- グレー表示のメニューは選択できません。

共通のボタン操作

以下は、本電話機の機能全体に共通するボタン操作です。

前の画面に戻る

1 クリア/マナー を押す

操作の途中で クリア/マナー を押すと、操作が取り消されて前の画面に戻ります。

待ち受け画面に戻る

1 PWR を押す

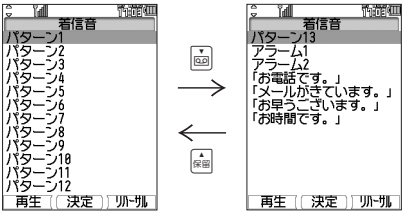
お知らせ
- 本書では、ボタンの操作を次のように簡略化しております。
  または を押すとき…
  または を押すとき…
  、、 または を押すとき…

スクロールする

一覧表示の画面では、次のページにスクロールしたり元のページに戻ったりすることができます。

1 ▼ または ▲ を押す

▼ で次の一覧を表示することができます。また、▲ で前の一覧に戻ることができます。



高速スクロールする

一覧表示の画面では、高速にスクロールを行うこともできます。

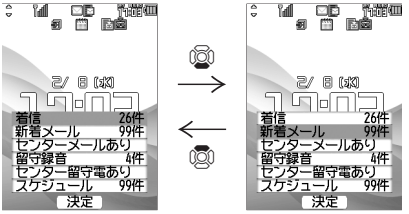
1 ◎ または ◎ を約1秒以上押したままにする

画面上のカーソルが高速にスクロールします。
▼、▲ も、ボタンを約1秒押したままにしておくと、ページ単位の高速なスクロールが行えます。

ポップアップを選択する

着信があったことや新しくメールが届いたことなどを通知するのが「ポップアップ」です。

1 ポップアップ表示時 ◎ で選択する



2 ◎ を押す

その通知に関連する機能の画面が表示されます。

ポップアップを消すには

クリアマナー を押します。

ポップアップを再表示するには

◎ を約 1 秒以上押します。

日時を設定する

日付・時刻は、オンラインサインアップ（☞3-6ページ）を行うと自動的に設定されるため、通常は変更する必要はありません。
オンラインサインアップを行わない場合は、次の手順で日時を設定してください。

ご注意

- 電池パックを外したり、完全に使い切ると、設定した日時がリセットされ、正しく表示されなくなります。その場合は、再度日時を設定し直してください。

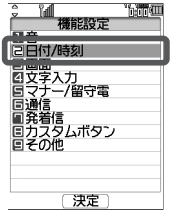
1 待ち受け画面で ◉

メインメニューが表示されます。

2 ◉ で「機能設定」を選択 → ◉

「機能設定」画面が表示されます。

3 ◉ で「日付／時刻」を選択する



4 ◉ を押す

「日付／時刻」画面が表示されます。

ここに現在の設定内容が表示されます

5 ◉ で「時計設定」を選択 → ◉

「時計設定」画面が表示されます。

6 で年月日の直したい箇所にカーソル（点滅する四角）を移動し、0 ～ 9 で正しい数字を入力する

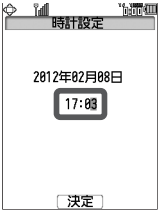
年は、西暦の下 2 桁だけが変更できます。
1 桁の数字を入力するときは、先頭に0をつけて「01」のように入力してください。

7 年月日を直したら で カーソルを時刻側に移動する

で、年月日と時刻の間をカーソルが移動します。

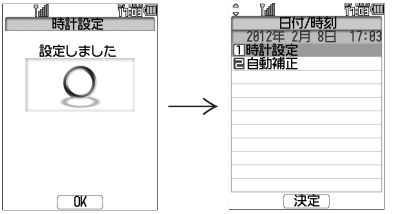
8 で時刻の直したい箇所にカーソルを移動し、0 ～ 9 で正しい数字を入力する

時刻は 24 時間制で入力します。



9 正しい日時に合わせたら を押す

日時が設定され、「設定しました」と表示されます。



10 を押す

待ち受け画面に戻ります。

お知らせ

- お買い上げ時には、「2012 年 1 月 1 日 00：00」に設定されています。
- 時計の精度は、1 ヶ月に± 60 秒程度です（25℃常温の場合）。
- 時計の表示形式を変えることもできます。「日時表示を設定する」（☞ 6-8 ページ）
- 時刻はパケット通信時に自動的に補正されるように設定されています。「日時の自動補正を設定する」（☞ 6-8 ページ）
- WX01J BJ は、「2019 年 1 月 1 日 00：00」に設定されています。